木に数匹いる中から捕まえやすいカブトムシを選んで捕獲

六角堂広場で夏休みを満喫

❖こどもほりでい

7月29日、六角堂広場で「なつやすみ！こども☆ほりでい。」が開かれ、家族連れなど約600人でにぎわいました。

メダカすくいやヨーヨー釣り、変り種の朝顔展示、工作体験などがあり、カブトムシの捕獲体験では、元気な国産カブトムシを木から引き離すのに一苦労。参加した子どもたちは、「足の力が強い」「動きが早くて、うまく捕まえられない」などと話しながら一人一匹ずつ捕まえ、うれしそうに持ち帰っていました。

宮ノ陣CC（クリーンセンター）を探検

❖工場見学ツアー

国家資格を持つクレーン操作員の手慣れた作業を見学

8月3日、子どもたちを対象に、宮ノ陣クリーンセンターのバックヤードツアーが行われました。

午前の部は13人が参加。普段は入れないクレーン操作室や中央制御室などを見学し、ごみのかき混ぜ作業や制御モニターを間近で見たり、作業員に質問したりしました。桑名美晴さん（大善寺幼稚園年長）は、「クレーンでたくさんのごみを一度につかむのを見て、びっくりしました」と感想を話しました。

六ツ門交差点で祭りがスタート

今年も田中麗奈さんが参加

元気に担ぐ子どもみこし

マーチングを披露する幼稚園児

個性的な衣装でアピール

暑さを吹き飛ばす熱気

❖ 水の祭典久留米まつり

8月3日から3日間、水の祭典久留米まつりが開かれました。今年は記録的猛暑。散水やミストマシンなどで、熱中症対策を強化しました。4日の午後に本祭が始まり、マーチングバンドや子どもみこしが登場。一万人のそろばん総踊りには、97の踊り連が参加し、会場を盛り上げました。5日には、筑後川花火大会を開催。大迫力の尺玉が祭りを締めくくりました。

暑さの中でも自然と笑顔に

消防団の放水で水遊び

明治通りを埋め尽くす踊り連

掛け声とポーズもばっちり

息の合った踊りを披露

伝統のそろばん踊りの振り付け

有馬火消しはしご乗り

夜空に輝く大迫力の花火

市政の動き

安全安心のまち 再認証が内定

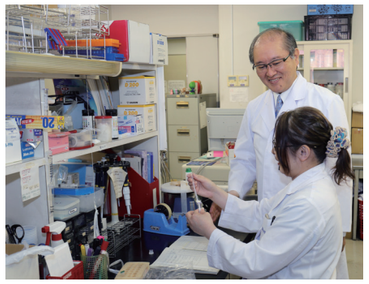
久留米市のセーフコミュニティ国際認証の期間満了を12月に控え、再認証に向けた現地審査が7月30日と31日に行われました。国際セーフコミュニティ認証センターの公認審査員2人に、大久保勉市長が成果や現状を説明。その後、活動視察などを行いました。

その結果、「世界でもトップクラスの取り組み」と評価され、再認証が内定しました。認証式典は12月に行う予定です。

㊐安全安心推進課（☎0942・30・9094、FAX0942・30・9706）

英語でプレゼンテーションする大久保市長

久大と理研が共同で小児疾患に挑む


共同研究室で指導を行う山下主任教授（奥）

8月1日、久留米大学と理化学研究所は、小児疾患の共同研究室を同大学医学部内に設置しました。成長障害の原因の一つであるビタミンD代謝異常の研究を、同大学の山下裕史朗主任教授らが進めます。

久留米市は、理研との連携拠点づくりを進めており、バイオ分野では九州初の共同研究室です。9月に記念講演会を開催します。詳細は11ページに掲載。

㊐新産業創出支援課（☎0942・30・9136、FAX0942・30・9707）